

令和七年度 東京純心大学 看護学部 看護学科

一般選抜試験（第一回）【国語】 試験問題

試験時間 60分 問題は1～7ページ

注意事項

- ・ 解答は、すべて解答用紙に記入すること。
- ・ 問題用紙は、試験終了後回収する。

受験番号

令和7年1月26日

□ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

※問題文については、朝日新聞社に無断で転載することを禁じます。

殴るかのように、列車の窓に木の枝があたった。

J R 小海線で長野県から山梨県に向かう車中でのことだ。手入れの①ヒヨウが足りないのか。(A)風当たりが強まるローカル線を考えた。

利用者が減少、コロナが(B)追い打ちをかけた。J R 西日本と東日本は相次いで赤字線の収支を公表、国土交通省の会議もあり方を見直す対象の条件を示した。鉄道網の縮小を求める意見も(A)声高に語られる。

いわく、利便性を優先すればバス、乗客が少ないと環境にも悪い、鉄道への固執は単なる郷愁、以上。さあ、地域の将来を見据えて廃止を含めて議論しよう。

これでいいのか。

鉄道は民間会社でも公共性が高い。鉄道担当記者のころ、ことあるごとに社員や役員が安全・安定輸送を守る責任、鉄道が貢献する地域や社会への思いを語るのを聞いた。

J R 東日本や西日本などは国鉄から借金も引き継ぎ、営業努力を重ねてきた。鉄道用地の再開発や「エキナカ」でも②カセイできた。

一方、民営化時点で約 37 兆円の国鉄債務の約 13・8 兆円は国民負担となった。都市部の一等地に持つ(イ)膨大な土地も、もともとは国民の財産だ。

鉄道(ウ)存廃は、赤字線単独あるいは鉄道事業の収支だけでは議論できまい。

鉄道を廃止してしまえば復活は難しい。東日本大震災のとき、普段は貨物輸送に使われないローカル線も活用され、不足する石油を被災地に届けた。力強く走る列車は勇気を与えた。郷愁だと③イッシュユウされそうだが、いつだって線路の先には希望と未来がある。

冒頭の小海線。沿線の中ほどの海瀬駅に「日本一海から遠い駅」という看板がある。交通の便が悪い山間地、④センジンたちには鉄

道をひいて地域を發展させようとの思いがあった。いずこも技術や資金の壁を乗り越えて切り開かれてきた。

「この鉄道は日本国民の叡智えいちと努力によって完成された」。東海道新幹線の東京駅改札内にある開業記念の銘板に、こんな短い文が日本語と英語で⑤キザまれている。見るたびに胸に響く。

日本で鉄道が開業して14日で150年。鉄道網の未来も「叡智と努力 (wisdom and effort)」で切り開きたい。

(黒沢大陸くろさわたいりく「鉄道150年、未来に「叡智」を」『朝日新聞』二〇二二年一〇月九日〈社説余滴〉欄)による)

承認番号 (25-0239)

設問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、(ア)～(ウ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(送りがなを記す必要はない。)

- ① ヒヨウ ② カセ(いで) ③ イッシユウ ④ センジン ⑤ キザ(まれて)
- (ア) 声高 (イ) 膨大 (ウ) 存廢

設問二 傍線部(A)(B)の言葉の意味を簡潔に記しなさい。

- (A) 風当たりが強まる (B) 追い打ちをかけた

設問三 鉄道150年を機に執筆された本文で、筆者がその存在意義として端的に認めている一文全体を、本文から二〇字以内で抜き出しなさい。(句読点も一字と数える。)

設問四 鉄道存廃をめぐる議論について、本文をもとに簡単にまとめてみた。以下の空欄(1)～(5)に、本文の内容を参考にして、適切に言葉を補いなさい。

☆ローカル線の現状Ⅱ

(1)

← コロナ禍の影響も

赤字↓↓手入れ行き届かず

←←

☆鉄道網の縮小・廃止を求める意見

・バスに比べて

(2)

・乗客減少で環境に悪い

・鉄道への固執は単なる郷愁

⇕⇕

☆筆者Ⅱ再考を求める

・鉄道の公共性Ⅱ安全・安定輸送を守る

地域・社会への貢献

・鉄道会社の

(3)

・JR所有の土地はもともと国民の財産

・鉄道をいったん廃止すると

(4)

☆役立った実例Ⅱ東日本大震災後

・ローカル線を (5) に活用

・列車走行は沿線住民に勇気を与えた

☆歴史を振り返れば……

地域発展への強い思い↓叡智と努力の傾注↓技術・資金の壁を乗り越える↓鉄道開業、完成 ↓だからこそ、再認識が必要

□ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

(A) 寓話「アリとキリギリス」で働き者として描かれるアリ。しかし、集団の中には、鈍すぎて仕事に気がつかない働きアリが交じっているという。働かないアリが無駄な存在かというところ、そうでもない。

北海道大の長谷川英祐准教授（進化生物学）が日本全国にいる「シワクシケアリ」を観察したところ、全体の2割程度の働きアリで仕事をしているそぶりが見られなかった。さらに、コンピュータを使って、働きアリが一斉に働くコロニー（集団）と、働かないアリが一定程度いるコロニーを①カソウして比較すると、働かないアリがいる方が、やや長く存続することがわかったという。

一斉に働くとは短期的には仕事の効率がいいが、やがて皆疲れて動けなくなる。卵の世話など中断できない仕事（ア）滞って、コロニー全体の維持に影響する。働かないアリがいれば、疲れて休んでいるアリに代わって働ける。長谷川さんは、働かないアリは緊急事態に出動する「待機要員」と推測、「目先の効率だけを追い求めすぎると、その集団は早く②ホロぶ」と指摘する。

無駄は、自然界での様々な生き物の共存に（イ）一役買っている。

東北大の近藤倫生教授（生態学）らの研究によると、生き物の多くは、種の繁栄にはつながらない見た目や機能を進化させるためにエネルギーを無駄に割いている。例えば、ひとときわきらびやかな羽を持つオスのクジャク。美しい羽は、メスに選ばれて子孫を残しやすくする反面、目立ちすぎて天敵に③ネラわれやすいなどのデメリットにもなる。

他の生き物たちとの生存競争を勝ち抜くのに有利な特徴ではなく、クジャクという種の全体から見ると、繁栄にはつながらない。鳥たちがさえずる歌や求愛ダンス、オスのシカの角なども、種の繁栄にとっては無駄な機能なのだという。

だが、生物多様性という観点で見れば、逆に大切な進化となる。これらの進化にエネルギーが注がれることで、他の生き物を根絶やしにする強い種が登場しにくくなる。その結果、弱い種も生き残れるといい、近藤さんは（エ）「無駄の進化が生物多様性を支えている」と強調する。

アリヤクジャクなどの生態を (B) ひもといてみても、無駄には、様々な意味があるようだ。

(H) 「目的でとらえ直せば、多くのことは無駄ではなくなる」。

「無駄学」の著書もある東京大先端科学技術研究センターの西成活裕教授が解説してくれた。

一例を挙げると、本の目的を「情報をできるだけ多く伝えるもの」と考えれば、(ウ) 四隅の余白は無駄なものだ。しかし、「知的活動を助けるもの」だと定義すると、書き込みもできる余白は無駄ではなく、むしろ欠かせないものとなる。

西成さんが④ テイショウ するのは、7割くらいの力やメンバーで取り組み、予定の間にはゆとりを設けるといいう仕事術だ。仮に病欠などが相次いだとしても、残り3割のメンバーでカバーできる。この3割は短期的には無駄に見えても、長期的な計画を立てたり、詰まってしまった予定を⑤ カイショウ したりするのに使える。

西成さんは「何が起きるのか予測できないのが現代だ。いざという時に対応できるようにゆとりを持っておいた方が強い。そのゆとりが普段は無駄に見えてしまうだけだ」と話している。

(松尾彩花「働かないアリの価値は？」『読売新聞』二〇二二年一〇月九日〈ニュースの門〉欄) による)

設問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、(ア)～(ウ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(送りがなを記す必要はない。)

- ① カソウ ② ホロ (ぶ) ③ ネラ (われ) ④ テイショウ ⑤ カイショウ
- (ア) 滞 (って) (イ) 一役 (ウ) 四隅

設問二 傍線部 (A) (B) の言葉の意味を簡潔に記しなさい。

(A) 寓話ぐわ

(B) ひもといて

設問三 傍線部(一)「無駄の進化が生物多様性を支えている」について、自然界における「無駄の進化」を以下のようにまとめてみた。
本文の記述をもとにして、空欄(1)～(3)に適切なことばを補って埋めなさい。

クジャクのおスの鮮やかな羽

+効果⇨メスを引き付ける ↓ 子孫を残しやすくする

-効果⇨目立ちすぎて [1] ↓ 命を落とす危険も

←

種の全体からみると……繁栄につながらない⇨無駄な機能

同様の例⇨鳥の求愛ダンス、オスのシカの角

生物多様性からみると…… [2] ⇨他を根絶させる強い種が登場しにくい⇨弱い種が生き残れる

←

[3] の共存につながる

設問四 傍線部(二)「目的でとらえ直せば、多くのことは無駄ではなくなる」について、本を例に挙げた以下の説明の図で、本文の説明を参考にして、空欄a～dを適切に埋めなさい。

☆本の余白は無駄か？

←

マイナス	プラス	
c	a	余白がある
d	b	余白がない

とらえ方次第で無駄ではなくなる

